

②BBハウス（仮設移動式スポット仮囲い材）

主な特徴



- 床ハツリ作業などへスポット養生を簡単設置。
(1ブロック当たり組立僅か10分)
- 特許部材のYTロック材を骨組みに使用し短時間で組立可能。また骨組みの水平方向軸が確定されており多連結しても軸ズレしません。
- 足元キャスターで簡単に移動可能。
- 壁、天井に採光防音シートを採用し第三者様への配慮をアピールできます。(約10dbの遮音性能)と内部への採光をもたらします
- 連結する事で養生スペース増床可能。
- 2×2ブロック(3.6m角)にして車輪を外すと杭頭処理対応への使用も可能です。

実用新案
登録第
3150867号

●BBハウス 1ブロック当たりの構成部材と重量

必要部材	商品コード	単体時数量	単重量	小計
縦地2mパイプ(車輪付き)	BB-H20YT	4本	7.5k	30k
横地1.8mパイプ	BB-W18YT	8本	4.5k	36k
天井シート1.8m角	BB-T(YT)	1枚	3.2k	3.2k
壁シート2m高	BB-K(YT)	3枚	4.5k	13.5k
壁シート出入り口付2m高	BB-KD(YT)	1枚	4.5k	4.5k
BBHスカートシート	(紐20本/枚付き)	1枚	1k	1k
				88.2k

※杭頭処理向け仕様はジャック付車輪を使わない為高さは約2mとなります。 ※ダクト穴あき壁シートが必要な場合は壁シート開き(商品コード:BB-KA(YT))別途有償で対応可能です。

シート部分 構成部材



天井面に四辺壁面との接合用のマジックテープターボリン付き

壁面(両端マジックテープ付き)
※1面は出入り口ファスナーと覗き窓付き

骨組み部分 構成部材



横地1.8m

縦地2m
パイプ

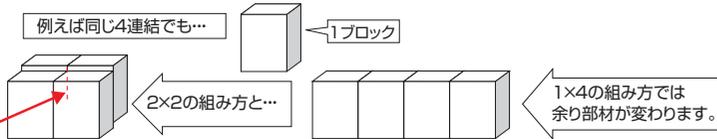
100径車輪付き

連結仕様での御注文時の注意点

2ブロック以上の連結で使用する場合はその連結方法によって不要(余り)部材が変わります。
①上記1ブロック必要数×連結ブロック数なのか ②連結形状での組み合わせ数で在庫するか御指示願います。



ジョイント用短パイプ(YT材用)
品番:BBM-JP

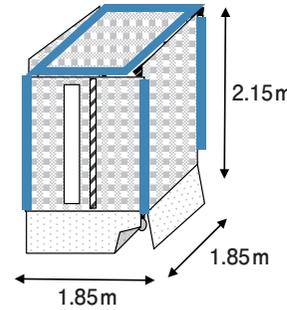


この組合せ時は真ん中の柱にオプションのジョイント短パイプを使うことで各ブロックの往来を容易にできます。
⇒ジョイント用短パイプを忘れず御注文願います。

【御注意点】

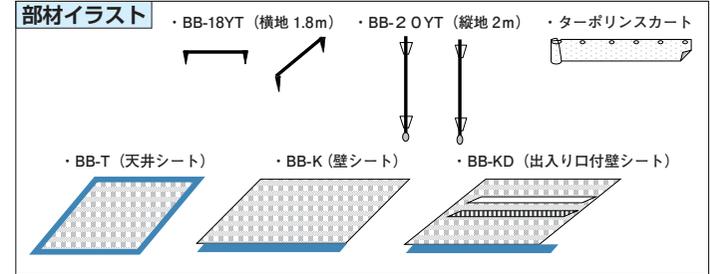
BBハウスは新型(新シート)になって連結時のジョイントファスナーが不要となりましたがBB三は従来通りジョイントファスナーが必要です。またBBハウスでも杭頭処理仕様用の部材では連結時のジョイントファスナーが必要ですので都度営業担当者へ御確認願います。

BBハウス 標準仕様(室内床ハツリ対策用) 単体仕様 組立手順 (YTロック骨組み材・新シート・ターボリンスカート生地 仕様)

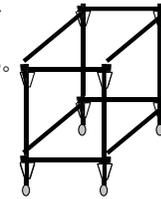


左図組み合わせでの外寸: 約 W1.85m×D1.85m×H2.15m

人員	必要工具・資材	所要時間
●最低2名(推奨3名以上)	●作業台(馬型2台と脚立1台など) 基本的に組立工具は不要。 (ハンドハンマーがあれば効率的)	●3名で約10分



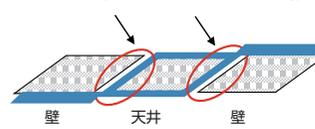
1 縦地 足元車輪のストッパーをかけた2人以上の相判作業の上立方体の骨組みを組み立てる。



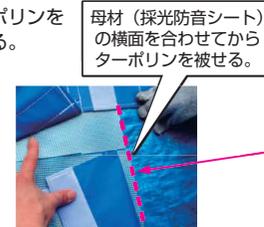
ロックがかかるまでしっかりと差し込む



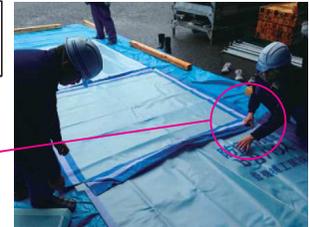
2 天井シートの4辺から出ている青色のターボリンを壁シートに被せてマジックテープ接合をする。



桁面に入出口壁シートを設けたい場合は希望の面に入出口付壁シートを取り付けて下さい。

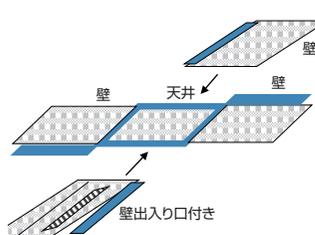


母材(採光防音シート)の横面を合わせてからターボリンを被せる。



3 更に壁シートを接合し十字状のシートを作る(壁4面中1面は出入り口付にしてください。)

※但し下記写真の通り現場の状況などを考慮して壁2面は2状態のシートを骨組みに掛けてからアト付けするの也可。



上記写真は壁2面をアト付けでの工程となります。
※壁シート単体は軽いため2人相判で後付け接合も容易です。



母材(採光防音シート)の横面を合わせてからターボリンを被せて天井⇔壁を接合。

後付けの壁シートを天井へ接合する際は採光防音シートの横面を合わせて接合願います。

4



天地方向に走っている壁シート同士のターポリンをマジックテープで接合する。



シート被せ終了

5

壁シートと地面との間の隙間(約100mm)の4面全周へターポリンスカート生地を紐固定巻きつけて下部の目張りをする。
 ※高価な壁シートをキャスターなどで巻き込み修理・滅失などが発生する可能性を軽減するにあえて壁シートはキャスターに被らない高さでとめてあります。

BBハウス内側から撮影



骨組み下部横地へスカート材を紐固定する。



キャスターの外側を回すようにスカート巻きつけ。

BBハウス外側から撮影



足元の4辺全周にスカート材を巻きつける。

6 完成!!



完成!!



出入口シート(ファスナー出入口)からの出入口状況



人が奥



出入口シート部分の安全管理窓の状況

●少人数作業となるのでハウス内の状況を常に外部より確認願います。



シートの構造上、角部などは隙間が発生します。
 密閉度を上げたい時は左記のように粘着の残らない養生テープなどで目張り願います。



◎オプションシート

壁シート丸穴開き(320径ダクト穴専用穴あきシート)
 ※オプション材で別途有償となります。
 品番: BB-KA(YT)

※写真の掲載されているダクトもオプション対応材です。

③BBハウス・ミニ(仮設移動式スポット仮囲い材 小型版)

主な特徴



●床ハツリのように屈む作業専用の養生材としてBBハウスより1廻りコンパクトサイズ設計
 組立時の脚立作業をなくしBBハウスに比べより早く安全に組立可能。(1ブロック当たり約8分)

●特許部材のYTロック材を骨組みに使用し短時間で組立可能。また骨組みの水平方向軸が確定されており多連結しても軸ズレしません。

●足元キャスターで簡単に移動可能。

●壁、天井に採光防音シートを採用し第三者様への配慮をアピールできます。(約10dbの遮音性能)

●BBミニ 1ブロック当たりの構成部材と重量

品名	品番	数量	単重量	小計
縦地1.5mパイプ	BBM-H15	4	6.1	24.4
横地1.5mパイプ	BBM-W15	8	3.6	28.8
天井シート	BBM-T	1	2.5	2.5
壁シート	BBM-K	3	3.5	10.5
壁シート出入口付き	BBM-KD	1	3.5	3.5
再剥離シート(0.5m幅×20m)		1	3.9	3.9
※品番のないものは消耗材				
1ブロック当たり重量⇒				73.6



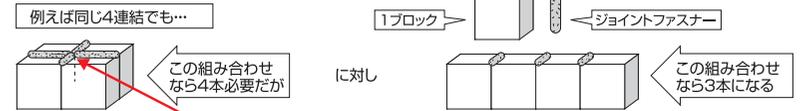
1ブロック当り	幅 m	奥行 m	高さ m
	約1.5	約1.5	約1.65



骨組材に'YTロック'(特許第4109657号)を使用。ハンマーで打ち込むと同時に抜け止めロックが飛び出しスピーディー且つ安全に組立が可能。
 ※組立時は必ず抜け止めのロックが飛び出ているかご確認ください。

BBミニ連結仕様での御注文時の注意点

連結仕様で御注文いただいた場合はその組み合わせに合わせたセット内容での部材が在庫されます。
 連結、単体とリリース中に組合せを変える場合は必ず単体のブロック数と連結時に必要となるジョイントファスナー本数を併せて御注文願います。連結には天井シート通しをつなぐ専用のBBミニ用ジョイントファスナー(販売品)が必要ですので参照に必要な数を御注文願います。



この組合せ時は真ん中の柱にオプションのジョイント用短パイプ(BBM-JP)各ブロックの往来が容易にできます。
 ※別紙連結仕様の2×2ブロック連結時の写真を御参照下さい。

●BBハウス、BBミニ比較表(組立・解体方法は同じです。P8~9をご参照下さい)

	外寸(W*D*H)	組立所要分数	連結時のジョイントファスナー	1ブロック当たり重量	壁シート出入口	オプションシート	長所
BBハウス	1.8*1.8*2.15	約10分	不要(天井シート同士の連結可)	90.7kg	天地方向へWファスナー式	壁シート丸穴開きBB-KA(YT)⇒ダクト用	高さがあるので作業員が立ったまま作業可能
BBミニ	1.5*1.5*1.65	約8分	必要	73.6kg	のれん状	なし	組立時にシートを被せる作業が容易。小さいので狭小現場に最適。

※2×2組みする場合は共にジョイントパイプ BBM-JPが必要です。